

令和5年度 地域振興推進費事業総括表

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
佐久	1	健やか佐久プロジェクト ～知ろう！食べよう！体を動かそう！みんなで楽しく健康づくり・フレイル予防～	今後増加が見込まれる高齢者が健康的に長生きするために、高原野菜の産地あること、ポールウォーキング等の産業立地などの佐久地域の特徴を生かして、県民一人ひとりが日常的にスポーツに親しみ、ライフステージに応じた食生活や運動の実践を推奨し、県民の健康増進を図る。 ○食育の推進と身体活動・運動習慣の普及のため、関係機関・団体等による連携会議の開催 ○ポールウォーキング講座や普及啓発シンポジウム開催による、健康づくり・フレイル予防に向けた取組 ○運動用具の整備及び貸出、健康づくりに関する運動講座への講師派遣、健康づくりボランティアを対象としたフォローアップ講座開催等による、住民主体活動の支援	R5.6 ～ R6.3
	2	佐久平プレメディカルケア産業創出事業	健康長寿の先進地の特性を活かし、プレメディカルケア分野のものづくりとサービスが一体となった新たな商品開発を行い、開発製品を「SAKUメッセ」などに出席して広く情報発信することにより、プレメディカルケア産業関連製品の販路開拓につなげるとともに、健康長寿に係る佐久地域独自の取組みについて、裾野を広げ一層加速させる。 ○佐久産業支援センター(SOIC)との連携による、中小企業等と福祉・医療機関等とのマッチング、新たな製品の試作開発や販路開拓支援 ○「SAKUメッセ」における試作品展示ブース出展	R5.4 ～ R6.3
	3	ゼロカーボンライフスタイル普及事業	気候変動に向けた佐久地域の先進的な取り組みを一般県民が知り、環境に配慮した生活を体験する機会を設けることにより、ゼロカーボンなライフスタイルの普及を図る。 ○一般向けのゼロカーボンミーティングの開催 (導入編)有識者による講演及びパネルディスカッションの開催 (移動編)ゼロカーボンにつながる移動手段の事前学習、E-Bike試乗体験会の実施 (食事編)ゼロカーボンにつながる地産地消の事前学習、地産地消料理教室の開催	R6.1 ～ R6.3
	4	佐久産農畜産物地産地産流通体制確立事業	佐久地域の宿泊施設等に佐久産農畜産物の利用拡大を図るため、地域振興局が農畜産物流通業者及び市町村、JA、農産物直売所等と連携し、佐久産農畜産物の地産地消の地域内流通体制を確立する。 ○農畜産物流通業者(卸業者・仲卸業者、仲買業者)との地産地産流通体制の確立打合せ ○宿泊施設等農畜産物利用流通実態調査、調査結果集計 ○佐久産農畜産物食材リスト一覧の作成・配布 ○農畜産物流通業者と宿泊施設等と佐久産農畜産物のマッチング(商談)、サンプル品提供	R5.6 ～ R6.3
	5	生食プルーンの美味しさを佐久地域から発信！	生食プルーンを新しい切り口とした佐久地域の魅力発信に向け、局(局内横断)、市町村、生産者が連携してツアーやイベント等を実施し、県オリジナル品種「オータムキュート」の生産振興を図る。 ○生食プルーンの市場調査及び発信戦略の策定 ○佐久地域産プルーンのPRアイテムを作成	R5.6 ～ R6.3
	6	温かい暮らしへ”お木変え”プロジェクト	木のよさを「知る・触れる・使う」ことで、木のある暮らしのきっかけを作り、ウッドチェンジの促進を図る。 ○情報発信コンテンツ作成(木を”知る”) ○森林環境教育(林業体験会、シカ被害地における観察会等)の実施	R5.8 ～ R6.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
佐久	7	佐久っとサイクルプロジェクト	<p>長野県一周ルートを推進する「Japan Alps Cyclingプロジェクト」に連動して、佐久地域にサイクルツーリズムを定着させるため、佐久地域の魅力を盛り込んだ推奨コースの利活用をはじめとした取組や小海線の観光利用を促進する取組を重層的に行うことにより、サイクルツーリズムの推進を図る。</p> <p>○小海線サイクリトレインイベントの開催 ○推奨コースの情報発信(サイクルマップ作成、ウォーキングコース含む記事掲載等) ○八ヶ岳周遊サイクリング大会に向けた意見交換会</p>	R5.7 ～ R6.3
	8	佐久地域日本酒・ワインツーリズム事業	<p>酒類製造に適した気候風土を活かしたツーリズムを育成するとともに、地域の飲食店や宿泊施設で地域の酒類を楽しむことができるよう、日本酒・ワインを目的とした観光の推進を図る。</p> <p>○しなの鉄道ラッピング列車「晴星」を活用した、貸切列車での日本酒及びワインの魅力PR</p>	R5.8 ～ R6.3
	9	佐久地域の移住スタイル発信事業	<p>佐久地域での多様な暮らし方の提示や特色ある取組に関する情報を発信することで、移住の促進及びつながり人口の増加を図る。</p> <p>○子育て世代を対象とした移住・教育セミナーの開催</p>	R5.8 ～ R6.3
	10	佐久管内県機関及び市町村等の情報発信事業	<p>コミュニティエフエム放送や地元メディアを活用し、県主催イベントや県事業・制度等の説明、情報提供を行い、県業務の周知や県の活動への県民の理解度を深め、さらに令和5年度から始まる新たな5か年計画の佐久地域計画の推進を図る。また、管内に周知すべき市町村等の施策についても広報することで、事業の推進を支援する。</p> <p>○FM佐久平において毎月2回、8分程度の広報番組を放送(朝1回放送) ○地元の紙メディア媒体「週刊さくだいら」への広告掲載</p>	R5.4 ～ R6.3
	11	佐久地域星空発信事業	<p>佐久の星空や宇宙観測施設等をデザインした佐久地域星空ラッピングトレイン「晴星」を活用し、県民や全国に向けて佐久地域の星空資源を積極的に発信する。</p> <p>○「晴星」のラストランイベントの開催(週末) ○最終運行日に車両のお見送りイベントの実施 ○SNS等への広告掲載</p>	R6.2 ～ R6.3
上田	1	上田地域広域観光推進事業	<p>1 観光キャンペーンの実施 観光需要を喚起し、認知度の向上を目指し、市町村や観光協会等と連携したキャンペーンを実施する。</p> <p>2 観光客同行調査 コロナ禍で変化した観光スポット・来訪者を改めて洗い出し、効果的なPRを行うための調査を行う。</p> <p>3 観光地域づくり講演会(セミナー)開催事業 市町村及び観光関係者を対象にマーケティング戦略や情報発信力の向上に向けた講演会等を開催する。</p> <p>4 サイクルツーリズム醸成 Japan Alps Cycling Roadの公表にあわせて上田地域のレンタサイクルの提供場所や自転車利用の注意事項(マナー等)を周知するとともに、サイクリストの受け入れ体制を整えるため、リペアキットを上田地域の「道の駅」に配置する。</p>	R5.8 ～ R6.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
上田	2	【松本地局実施】 信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	<ul style="list-style-type: none"> 松本空港を利用して来県する旅行者のうち、レンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図るため、令和3年7月から観光パスポート「信州まつもと空港発「レンタカーDeぐるっ得パス」」を配布している。 有効期限が令和6年3月31日までのため、対象エリアの見直しや店舗追加等パスポートのアップデートを図るもの。 上田地域を対象エリアに追加するに伴い、店舗数に応じた費用を上田地局で負担する。 	R5.5 ～ R6.3
	3	にぎやかな森プロジェクト	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図るとともに、地域の林業経営者等へ成果を普及啓発する。	R5.4 ～ R6.3
	4	求職者・就職困難者等に対する就労サポート事業	上田地域での就労促進や産業人材の確保のため、特に女性を対象とした就労等に関する相談会やセミナーを実施するとともに、就労支援制度に関する情報提供等を行う。	R5.9 ～ R6.2
	5	伝統的工芸品の魅力発信・再発見事業	上田地域の伝統的工芸品の価値や魅力を発信・再発見するために、各種展示会やブログを通じて広く周知するとともに、販売促進等を行う。	R5.10 ～ R5.11
	6	農産物直売所魅力アップ支援事業	取扱品目や出荷者の拡大支援に加え、集客力の拡大に向け、上田地域の直売所に共通する課題の解決を目的とした事業とともに、農業と観光業を“つないだ”情報発信アイテムを作成する。	R5.4 ～ R6.3
	7	上田地域の短期大学との連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田女子短期大学と連携して、上田地域の中学生を対象としたキャンパスツアーの開催やイベントの共同広報を行うことで、4年制大学にはない両校の魅力を発信し、地域産業を支える人材の育成につなげる。	R5.6 ～ R5.12
	8	上田地域ワイン振興事業	<ol style="list-style-type: none"> 新聞折込広告の実施 ワインのギフト活用を提案する広告を作成し、11月末に新聞折込により上田地域の4市町村の新聞購読世帯約56,000世帯に配布する。 販売情報リーフレットの増刷 R4年度発行分の在庫がなくなるため増刷を行う。 	R5.6 ～ R6.1
	9	ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン用ぶどう栽培者の経営安定やワインの評価につなげるため、原料ぶどうの品質と収量の向上につながる栽培技術の指導・支援に取り組む。	R6.1 ～ R6.3
	10	棚田の学校子育て支援事業	日本の原風景である棚田での農業体験等について、発達障害や不登校児童が社会とふれあう場としての活用方法を検討するため実証実験を行い、課題の抽出を行う。	R5.5 ～ R6.1
	11	健康長寿の運動セミナー	成人の運動実施率の向上と健康長寿の延伸を目指して、ニーズに応じた運動講座の開催や各種団体等が主催する運動教室開催の支援を行い、運動習慣の定着や健康増進活動の促進を図る。	R5.5 ～ R6.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
上田	12	長和町における共創人口構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長和町では移住者の受入環境が十分とはいえないことから(一時的な住まい、仕事の選択肢、若者が集まる場がないなど)、旧和田中学校を活用し、R5年度に信州暮らし推進課が実施する「共創人口構築事業」を進めるとともに、当該事業で必要となる部材等を購入する。 ・ 旧和田中学校に宿泊や食事、生業づくりのための拠点機能を持たせ、長和町におけるホットスポット化を目指す。 	R5.10 ～ R6.2
	13	地球温暖化対策及びゼロカーボン実現に向けた断熱講習会開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゼロカーボンの取組をさらに地域に広げ推進していくため、上田地域で先進的・継続的にゼロカーボンに取り組んでいる事業者を講師に迎えて講演会等を開催する。(R4年度に制作した動画の上映会も同時開催) ・ 併せて、普及啓発活動を目的としたチラシやグッズ等を作成し、配布する。 	R5.9 ～ R6.3
	14	上小地域観光地域づくり推進事業	<p>上田地域の豊かな食を活かした観光地域づくりを推進するため、「上田地域食材活用分科会」を設置し、以下の取組を実施する。</p> <p>(1)分科会の開催 (2)生産者ツアーの開催</p>	R5.12 ～ R6.2
諏訪	1	コミュニティ放送を活用した地域情報の発信事業	地域住民に伝えたい、地域住民が知りたい諏訪管内の現地機関等の施策・取組等の情報や災害・感染症等、地域住民の暮らしに影響の大きい事案の情報についてコミュニティ放送等によりタイムリーに発信する。	R5.5 ～ R6.3
	2	諏訪湖の利水・生態系保全に向けた課題解決推進事業	諏訪湖創生ビジョンの取組を推進するため、諏訪湖の利水・生態系保全に向けた課題解決のため、ワーキンググループを設置し検討会や勉強会を開催する。	R5.4 ～ R6.3
	3	浮き漁礁設置に係る生物調査	県民参加型予算で設置予定の浮き漁礁について、設置前後の生息数について調査する。	R5.5 ～ R6.3
	5	ヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みの構築事業	次期総合5か年計画及び施策の見直し後の諏訪湖創生ビジョンにおいてヒシによる貧酸素、景観阻害等の課題の解消のため、ヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みづくりを検討する。	R5.8 ～ R5.11
	6	水辺の昆虫モニタリングと保全に向けた啓発事業	流入河川におけるメガネサナエの成虫調査及び諏訪湖湖岸の羽化殻調査を継続し生息状況を把握しつつ、令和4年度に作成したリーフレット等を活用し、学校での学習、環境イベント等での周知啓発に活用し、諏訪湖及び流入河川の環境保全を図る。	R5.6 ～ R6.2
	7	縄文トレイルサイクリングコース開発事業	サイクリングを好む一方、縄文への関心が薄い層に博物館等を訪問してもらうことを目的に、縄文をテーマにしたサイクリングコースをハケ岳方面でモデル的に開発する。	R5.7 ～ R6.1

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
諏訪	8	体験型アクティビティ推進事業	「ジャパンエコトラックハケ岳・諏訪湖デジタルスタンプラリー」を開催。令和4年度に諏訪地方観光連盟がジャパンエコトラック(JET)に登録した12コースを基に、公式アプリを使用したデジタルスタンプラリーを実施し、ハケ岳・諏訪湖JETキャンペーンを展開する。同時に、SNS等を活用して本キャンペーンの情報発信を行い、イベントへの参加促進や、おすすめの立ち寄りスポット等の投稿を行うことで飲食店、土産物屋等への誘客を図る。	R5.6 ～ R5.11
	9	おらほの子どもは、おらほで育てる～地域で育つ、里親養育推進・応援事業	(1)諏訪地域における子どもを育む社会のあり方検討会の開催(年4回) 諏訪地域における子育てを取り巻く課題を把握するとともに、市町村の規模に関わらず安心して子育てができる支援体制のあり方について検討する。 (2)里親制度紹介パネル展及び養育里親制度相談会の開催(年6回) 昨年度作成した里親制度紹介パネルを活用し、諏訪地域市町村公共施設や商業施設、地域企業を巡回する展示を行うことで里親制度の周知を図る。また、パネル展示にあわせて養育里親による体験談説明を主とした里親制度相談会を開催し、養育里親希望者の新規掘り起こしを図る。	R5.6 ～ R6.3
	10	農産物関連イベント・直売所巡りスタンプラリー	新型コロナウイルスなどにより、諏訪地域の農畜産物の消費量が減っているため、その魅力を発信し、地産地消をより一層進めるため、管内の農畜産物関連イベントのほか、農産物直売所等の施設を巡るスタンプラリーを実施する。	R5.8 ～ R5.11
	11	日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」のブランド力強化事業	諏訪地域にある日本遺産について、地域内の構成団体と連携し、「面」としての周遊を促す仕組みを検討・構築する。	R5.7 ～ R6.3
	12	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	空港を利用して来県する旅行者に対して令和3年7月から配布している観光パスポートの有効期限が令和6年3月31日までのため、対象エリアの見直しや店舗追加等のアップデートをして増刷する。また、令和6年度からは、店舗情報等は冊子を利用し、特典を受ける手順のみ電子化(QRコード読み取りなど)することで、利用者のデータを入手できるようにする。	R5.5 ～ R6.3
	13	ハケ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした総合的な振興方策の検討・展開	これまで2年間実施してきたハケ岳西麓地域の振興策について意見交換を行うタウンミーティングを発展させ、魅力的な歴史遺産である「縄文」を切り口に、地域づくりについて学び、意見交換を行うことにより、地域に根差し自由な発想を持つ民間団体の活動促進や連携を図るタウンミーティングを開催する。	R5.9 ～ R6.1
	14	令和5年度諏訪湖カワアイサ対策生態調査事業	カワアイサについては、学術的な調査が行われておらず、行動、食性及び捕食量などの詳しい生態が不明確であり、効果的な被害対策が構築できていないため、令和5年度は、諏訪湖に流入する上川等の河川における行動調査を実施する。	R5.10 ～ R6.3
	15	インバウンド受入推進事業	「アクティビティ」「自然」「異文化体験」等を組み合わせ、効果的にインバウンド誘客へつなげるため、地域コンテンツの再確認から受入環境整備、諏訪地域の可能性について、専門家を招いてセミナーを開催する。併せて、地域の宿泊・飲食・アクティビティガイドなど各分野の事業者をパネリストに迎え、今後の課題や方向性等をテーマに意見交換を実施する。	R5.10 ～ R5.12

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
諏訪	16	諏訪湖結氷時安全対策推進事業	ライブカメラ1台を設置(予定設置場所:県有施設)し、映像をYouTubeでライブ配信する。映像に、結氷時立入危険の旨のテロップを日本語と英語で流し注意喚起を行う。合わせて、御神渡りの画像も表示しPRを行う。	R5.12 ～ R6.3
	17	ワカサギ資源に関する基礎調査	遡上前から遡上期における諏訪湖内のワカサギ資源量について調査し、産卵前の正確な資源状態を把握し、採卵事業の定置網設置場所の選定に活用する。	R5.12 ～ R6.3
	18	諏訪湖における持続可能な漁業振興検討事業	課題の一つである「生態系保全」の内、魚介類の生息環境の修復について、他県の取組みなどを参考に、実施可能な修復手法やその手順に係るワーキンググループを設置し、情報共有と対策を検討する。	R5.6 ～ R6.3
	19	銀座NAGANO観光PR事業	冬季の観光客増加を目指し、酒とジビエをフックとした季節に関係なく楽しめる諏訪地域の魅力をPRするイベントを銀座NAGANOで開催する。	R5.11 ～ R6.1
	20	八ヶ岳西麓地域の農畜産物魅力発信事業	信州諏訪農業協同組合と協力して八ヶ岳西麓地域の魅力を広く発信する観光フェス「白樺湖のにちようび」にブースを出展し、八ヶ岳山麓の農畜産物の魅力を、地域住民や観光客に発信する。	R5.9 ～ R5.11
	21	農産物直売所誘客促進事業	直売所マップを増刷し、観光客が来訪する大規模直売所に追加配布するとともに、諏訪湖SAや誘客効果が高いと思われる銀座NAGANOに新たに配布し、直売所の利用促進を図る。	R5.12 ～ R6.3
	22	諏訪湖の水草対策推進事業	ヒシの大量繁茂によるマイナス面の影響に対応するため、ヒシの特性等に関する基礎的な情報や、他自治体の取組等についての情報を共有し、除去量増加に向けた新たな仕組みづくりの検討や合意形成を行う。	R6.1 ～ R6.2
上伊那	1	地域の先端技術産業を学ぶ林業体験学習事業	林業への就職希望者の増加を図るため、高校生を対象に先端技術を活用したスマート林業の体験講習会を開催する。	R6.1 ～ R6.3
	2	建設産業の魅力を実感プロジェクト事業～高校生が行う身近な公共施設建設体験～	建設産業の担い手確保につなげるため、建設系学科の高校生を対象とした実地体験会を開催し、魅力ややりがいを体験できる機会を提供する。	R5.4 ～ R5.9
	3	高大連携による人材育成事業～グローバル人材の育成～	世界的な視野を持って地域課題の解決に取り組む人材を育成するため、信州大学で実施しているJICA草の根技術協力事業と連携し、高校生のネパール派遣を行う。	R5.8 ～ R6.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
上伊那	4	農業水利資産の郷土学習事業	郷土を学び地域を支える人材を育成するため、新たに三峰川、春富地域の農業水利資産を学ぶ教材を作成し、当該地域の小学生を対象とした現地見学バスツアーを開催する。	R5.6 ～ R6.3
	5	スマート農業導入加速化支援事業	スマート農業に係る理解を深め効率化を図るとともに、環境保全型農業の取組拡大、農業の担い手確保につなげるため、シンポジウム及び実演会を開催する。	R5.6 ～ R5.12
	6	放置竹林整備体制構築事業	上伊那で広まりつつある放置竹林の整備のため、広報番組を制作して整備の重要性を周知し、講習会を開催して住民自ら整備できる体制の構築を図る。	R5.12 ～ R6.3
	7	地域の子育て支援体制強化事業	上伊那地域の子育て支援体制のあり方について検討し、里親制度普及啓発のためフォーラムの開催とパネル展、相談会を開催する。	R5.4 ～ R6.3
	8	伊那谷ビュースポット発掘・発信事業	リニア新時代に向けた観光スポットを掘り起こし、情報発信を行うため、上伊那・南信州地域のビュースポット写真を収集する。 【南信州地域振興局連携事業】	R5.4 ～ R6.3
	9	若者のUIJターン促進事業	若者の都市部への流出を防ぐため、就職情報等を発信するLINEの登録案内の広報とSNSを活用した上伊那地域の仕事・暮らしの魅力を発信し、UIJターンを促進する。	R5.6 ～ R6.3
	10	上伊那地域の棚田魅力発信事業	農林水産省から「つなぐ棚田遺産」として認定された棚田の魅力を発信するためパンフレット等を制作し、認知度をはかるためアンケート調査を実施する。	R5.8 ～ R5.10
	12	上伊那観光PR事業in名古屋	アフターコロナ下での誘客促進及び認知度向上のため、9/9と9/10の2日間、名古屋市において、上伊那地域ブースを出展し、観光PRを実施する。	R5.9
	13	高齢者の生きがい・活動の場づくり促進事業	シニア世代と若者世代に、交流の場と異世代交流の手法やスキルを学ぶ機会を提供する「異世代交流体験会『シニアのお宝博覧会』」を開催する。	R5.9 ～ R5.12
	14	上伊那ゼロカーボン推進事業	持続可能な社会を考える映画「Wende2」の上映と、映画関係者及び活動が映画に取り上げられた辰野高校生徒によるトークセッションを開催する。	R5.11 ～ R5.12
上伊那	15	伊那合同庁舎共有スペースリフレッシュ事業	県の取組や地域の魅力PRを効果的に行える空間に合庁内をリフレッシュする。	R6.1 ～ R6.3
	16	令和6年能登半島地震を踏まえた災害対策本部上伊那地方部の体制強化事業	令和6年能登半島地震を踏まえ、南海トラフ地震や糸魚川ー静岡構造線断層帯地震等の大規模地震が発生しても適切な対応が取れるように地方部の体制を強化する。	R6.1 ～ R6.3
南信州	1	伊那谷deキャリア教育研修会事業	伊那谷で継続した取組の実施(キャリア教育研修会開催)と推進体制の構築	R5.9 ～ R5.12

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
南信州	2	南信州とのつながり創出事業	つながり人口の現状把握と学習会やつながり創出事業等の開催	R5.9 ～ R6.2
	3	伊那谷ビュースポット発掘・発信事業	伊那谷ビュースポットの写真撮影(春・夏)及び新たなビュースポット候補の選定・整備・情報発信	R5.4 ～ R6.3
	4	三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー事業	三地域の交流促進を目的に、連携して行うマラソン大会スタンプラリーの開催	R5.6～ R6.3
	5	民俗芸能パートナー企業制度を活用した民俗芸能保存・継承事業	南信州民俗芸能パートナー企業制度を活用した支援促進に向け勉強会の開催とテーマを絞りモデル的に支援の実施	R5.7 ～ R6.3
	7	プラスチックスマート推進記念事業	レジ袋削減運動が始まり15年を迎えることを記念し、公演会や表彰等を行う。	R5.12 ～ R6.2
	8	「竹取再生」促進事業	竹を土木資材として新たに製品開発するための試験試行の実施	R5.12 ～ R6.3
	11	JR東海等と連携した南信州地域のPR事業	JR東海と連携した南信州のPR	R5.4 ～ R6.3
	13	～日本なし産地再生プロジェクト活動～ 「日本なしを使用した菓子等商品化プロジェクト」と「卸売市場への日本なしのトップセールスと新品種お披露目会」	R4にデザインまで作成した日本なし商品が食べられるマップの印刷とポスターの作成による地域への情報発信	R5.5 ～ R5.9
	15	南信州民俗芸能を学ぶ赤門スクール特別編開催事業	民俗芸能を学ぶ赤門スクール特別編の開催	R5.7 ～ R6.3
	16	「食」で繋げる「いつも」も「もしも」も強いまちづくり研修会事業	食に関する防災研修会の開催	R5.11
	17	～日本なし産地再生プロジェクト活動～ 日本なし生産振興大会の開催	日本なし生産振興大会の開催	R6.1 ～ R6.2
	18	地場産業振興事業	名古屋市で南信州地域の特産品販売を行い、ブランド力の向上を推進する	R6.2
19	消防団員募集事業	団員確保を促進し、消防団が活動しやすい環境づくりを進める	R6.1 ～ R6.3	

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
南信州	20	南信州の伝統野菜食べ歩きバッチラリー	伝統野菜の認知度向上と消費拡大、生産者の意欲情勢と新規栽培者の確保を図る	R5.12 ～ R6.3
	21	南信州シードル振興事業	南信州シードルのブランディング要件やPRの方法について研究	R6.2 ～ R6.3
	22	災害時における情報収集機能と小規模町村の支援体制の強化事業	大規模災害の発生に備え、県、市町村及び関係機関の連携と防災力の向上	R6.1 ～ R6.3
木曽	1	御岳県立公園の国定公園化推進事業	・親子を対象に御嶽山周辺のエコツアーを開催し、国定公園化に向けた御嶽山への関心を高める。 ・御岳県立公園の国定公園化の機運を高めるため、公用車(県、町村)、バス、タクシー等に張り付けるマグネットシートを作成し、広く周知を行う。	R5.8 ～ R6.2
	2	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業 (松本地域振興局)	松本空港経由のレンタカー使用者の、空港周辺地域への周遊を促進するため、観光クーポンブックを配布する。 (松本、北アルプス、木曽、諏訪、上田地域)	R5.5 ～ R6.3
	3	ふるさとの思い出品造成事業	一町村にスポットを当て、地域の特産品など地域の企業等で作成した卒業等記念品を贈呈することにより、ふるさとへの想いを深めてもらう。	R5.11 ～ R6.3
	4	移住促進に向けた木曽地域PR事業	・町村へ実施依頼している移住者捕捉アンケート記入協力者に「おもちゃ美術館」など各町村の推す施設の無料入場券などを配付し、アンケート回収率の向上を図るとともに、施設のPRも図る。 ・行政サポート等により木曽地域への移住を検討中の方に対しても、木曽地域のPRを兼ね、施設の無料入場券などを配付する。	R5.11 ～ R6.3
	7	木曽地域木材産業振興対策推進事業	・効果的な流通に必要な原木仕分実証を継続して行うとともに、木曽地域の水平連携の構築に向けたアドバイザーによる課題調査、優良事例調査、連携体制の検討等を行う。 ・また、新たな木材需要を喚起するため、全国規模で開催される「ウッドコレクション2024(モクコレ)」に出展し、木曽産材及び製材品等の啓発活動を展開する。	R5.11 ～ R6.3
	8	木曽地域観光資源等魅力発信事業	木曽へのアクセスが良く、人口も多い愛知県を中心とした中京圏に対し、継続的な木曽の観光資源の魅力発信を行う。	R5.7 ～ R5.12
	9	木曽木製品魅力発信事業	木曽広域連合と連携し、銀座NAGANOで移住希望者向けに「木」の魅力を体感してもらうワークショップと移住交流相談会を開催する。併せて木曽産の木材を使用した伝統的工芸を含む木曽への理解を深めてもらうことで移住に向けたツアー参加者を発掘し、担い手確保に繋げていく。	R5.7 ～ R5.9
	10	社会的起業支援事業	県立大学と協働した起業希望者向け講習会の修了生に対するフォローアップ講座を実施する。	R5.6 ～ R6.2

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
木曾	11	木曾の伝統食材「すんき」のPR事業	・学校食育授業を実施し、木曾の伝統食材「すんき」の食文化の継承と地域住民へのPRを行う。 ・木曾郡外へのPRと流通経路検討のための商談会、販売会等を実施する。	R5.8 ～ R6.3
	12	木曾地区災害時医療救護訓練	災害時を想定し、災害医療シミュレーションキット(エマルゴトレーニングシステム)を使用した机上訓練を行い、スタッフの技量向上を図るとともに関係機関間の連携を確認・検証する。	R5.9 ～ R5.11
	13	木曾地域公共交通計画策定事業	広域バス路線の運行を着実に実現するための専門的人材の活用や運営組織、運営形態等の実態を把握するため、全国の市町村の好事例を視察することで、導入検討のための情報収集を行う。	R5.9 ～ R6.3
	14	木曾青峰高等学校森林環境科広報活動推進事業	森林資源の活用や環境保全についての専門的な知識や技術の習得ができる県内唯一の学科である木曾青峰高等学校森林環境科の広報活動に力を入れるため、ホームページの改修、広報誌を作成する。	R5.10 ～ R6.3
	15	救急医療の適正利用啓発事業	救急医療機関や消防の負担を軽減し適切な救急医療体制の確保を図るため、救急医療の適正利用啓発リーフレットを作成し、地域住民への啓発を行う。	R5.10 ～ R6.2
	16	御嶽山火山マイスターの育成・支援	御嶽山火山マイスターのさらなるスキルアップを図り、御嶽山の魅力を内外に発信するとともに、来訪者の火山防災意識の向上につなげるための先進地の視察研修を行う。	R6.2 ～ R6.3
松本	1	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	ウィズコロナにおける観光振興が全国的に展開される機運の中、空港周辺地域の周遊を促進するため、空港を利用して来県する旅行者のうち、特に広域的に周遊する傾向のあるレンタカー利用者に対し、空港周辺地域の観光情報の提供や特典付与による動機付けを行うことで、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図るための事業を実施する。 [事業内容] ・QRコードによる新観光パスポートシステムの開発と店舗へのQRコード配布 ・観光パスポート(レンタカーでぐるっ得パス)の冊子版の増刷・配布 ・同パスポートを活用し、パスポート掲載店舗を利用したレシート等を集めることで、景品が抽選で当たるキャンペーンの実施	R5.5 ～ R6.3
	2	空港利用促進等PR事業	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ空港利用者の増加のため、空港の利用促進及び利用者のおもてなし等を実施する。 [事業内容] ・チャーター便等で来訪する観光客への配布ノベルティの作成等 ・神戸線の利用拡大として、大阪事務所と協力した、関西地域で開かれるイベントでのノベルティの配布、関西地域飲食店等での情報発信 ・県内企業等へ空港利用促進のための案内チラシ送付による周知活動	R5.5 ～ R6.3
	3	地元特産品魅力発信事業	当地域の特産品である伝統的工芸品とワインをコラボし、魅力を発信することによりファンを開拓し、空港の利用促進とそれを活用した観光地づくりにつなげていく。 [事業内容] 信州まつもとと空港地元利用促進協議会が参加するRKB主催イベントに当局ブースを設け、伝統的工芸品×ワインの魅力を同協議会等と連携し広域的に情報発信する。 ・実施時期:10月中旬の土・日(2日間)	R5.9 ～ R5.10

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
松本	4	花緑ボランティア等推進事業	信州花フェスタ2019の記憶と成果を活かしながら、松本平広域公園の魅力向上と花緑ボランティアリーダー活動の活性化を図り、地域における協働活動を推進するため、松本平広域公園において地域住民や民間企業等のボランティア団体を対象とした事業を実施する。 [事業内容] ・花緑ボランティアリーダー養成講座 ・緑化講習会 ・花壇づくりワークショップ ・実施時期: 令和5年4月～令和6年2月	R5.4 ～ R5.11
	5	「信州 火山防災の日」に関連した啓発事業	令和5年に9月27日を「信州 火山防災の日」(仮称)として制定されるのにあわせ、当該制定の周知と管内火山(焼岳・乗鞍岳)の啓発活動(周知、啓発物品の作成等)を実施する。	R5.9 ～ R6.2
	6	糸魚川-静岡構造線断層帯等による大規模地震を想定した防災意識醸成のための事業	糸魚川-静岡構造線断層帯等による大規模地震を想定した防災意識の醸成や防災に関する知識、見識を深める。 [事業内容] 市町村等の防災担当者を対象とした勉強会、ワーキンググループ等を実施する。	R6.2
	7	県土強靱化・逃げ遅れゼロ啓発事業	市民の防災意識向上と公共事業への理解促進を図るため、インフラの存在意義や役割などの理解促進、防災意識の向上、身の回りのリスクを知り、避難行動につなげる。 [事業内容] ・防災インフラカードの作成、配布 ・防災イベントの開催	R5.9 ～ R6.3
	8	サイクルツーリズム推進事業	松本地域の体験型観光としてサイクルツーリズムの推進を目指すため、元気づくり支援金によりサイクリングルートの策定等に取り組む市村と連携したサイクルツーリズムを推進する。 [事業内容] サイクリングルート策定方法や市村間の連携、イベント開催等の持続可能な集客の推進を図るため、観光戦略会議メンバーの意識醸成のための効果的な講演会開催と試走会の実施 ・実施時期: 10月上旬	R5.9 ～ R5.10
	9	地域資源を活用した松本広域圏の魅力発信事業	松本地域の隠れた観光資源を活用した広域観光を推進する。 [事業内容] ・地域資源を活用したカード作成 ・作成したカードを利用したデジタルスタンプラリーの実施 ・実施期間: 令和5年5月～令和6年3月	R5.5 ～ R6.3
	10	スマート農業推進事業	果樹の生産現場では、担い手の減少・高齢化の進行により、労働力不足が深刻な問題であり、また、果樹の管理作業は手作業が多く、他の作物に比べ機械化が遅れている現状において、生産者に大きな負担となる夏場の除草作業をロボット草刈り機によって管理できる技術の実用化が進んでいることから、樹園地における草生管理の省力効果及び実用性を明らかにする。 [事業内容] ・ロボット草刈り機実演会及びスマート農業推進検討会の開催(実演会: 1回、検討会: 2回)	R5.8 ～ R6.2

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
松本	11	信州まつもと広域圏まるごと移住支援事業	アフターコロナによる地方回帰の動きを捉えた広域的な移住促進を支援する。 [事業内容] ・信州まつもと広域圏まるごと移住相談会の開催 （東京開催、現地開催とオンライン併用開催の2回開催） ・市村視察・先進地事例勉強会の開催 ・実施期間：令和5年4月～令和6年2月	R5.10 ～ R6.2
	12	農地風食対策推進事業	松本南西部地域において、春先の強風により冬期間作付けがされていない野菜畑等から土壌が飛散する“風食”の発生を防止する。 [事業内容] ・農地風食発生メカニズムの解明 農地における風食の発生と環境条件の因果関係を解明するため、ほ場にて環境モニタリングを実施 （実施期間及び調査か所：R5.11～R6.3 管内2か所） ・風食防止に向けた対策検討会の開催 効果的かつ普及しやすい対策を検討するため、モニタリングデータや過去の対策試験データを基に有識者（大学教授等）を招いた対策検討会を開催 （検討会回数：2回）	R5.8 ～ R6.3
	13	脱炭素社会に向けた地元木材製品等普及拡大事業	再生可能な地域資源である木材製品等に転換を図ることを目的として、木工製品等の展示及び印刷物（パンフレット）を作成し、木工品の利用拡大を図る。 [事業内容] 東京都などで展示する機会を設け、都会の人達に長野県産材を利用した製品のPRを行う。 ・実施時期：10月～2月 ・展示予定：銀座NAGANO、モクコレ（東京ビッグサイト） ・事業費内訳 旅費、需用費（パンフレット増刷、木工品購入費）	R5.10 ～ R6.2
	14	教育従事者等を対象とした環境教育の普及拡大	教育従事者（学校の先生）等が、ゼロカーボンについての授業を行う上での基礎的知識や実践（単元づくりや教材のヒント）について学ぶ機会を提供する。 [実施内容] ・基礎知識を学ぶ座学の開催 ・松本平ゼロカーボン・コンソーシアム等と連携した先進取組事例の見学会の実施。 ・実施期間：5月～12月	R5.5 ～ R5.11
北アルプス	1	地域在来品種の特産化推進事業	地域在来品種である農産物（クレソン、小谷にんにく等）の特産化を推進する。 ・生産拡大支援（簡易栽培法の検討） ・利用拡大推進（地域在来品種の利活用提案会の開催）	R5.7 ～ R6.1
	2	広葉樹林業のビジネス化事業	地域の広葉樹資源を活かし、広葉樹林業のビジネス化を目指す。 ・フォーラム、研修会、先進地視察の実施 ・製材マルシェ（木工製品販売、木工体験等）の実施 ・製材・乾燥方法による加工性等の検証	R5.4 ～ R6.3
	3	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	空港発レンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在、消費の促進を図るためキャンペーンを実施する。 ・特典付き観光パスポートの印刷、配布 ・次期（R6～）観光パスポートの作成 ※ 松本、上田、諏訪、木曾、長野との6局連携事業	R5.5 ～ R6.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
北アルプス	4	北アルプスサイクルツーリズム推進事業	グリーンシーズンの観光誘客を図るため、地域の絶景を楽しみながら走るサイクルツーリズムを推進する。 ・魅力発信(体験記事・動画配信、マップ配布) ・広域連携による推進(サイクルイベント出展等)	R5.4 ～ R6.3
	5	北アルプス北部山域イメージアップ事業	山岳環境保全のため、自然保護レンジャー、山小屋関係施設等を通じて登山客のマナー向上に向けた普及啓発を行う。 ・登山者マナーカードの作成、配布	R5.7 ～ R5.12
	6	学べる農業資産広報媒体制作事業	歴史的価値を有し、農村景観を形成し人々を魅了する農業資産を紹介するパンフレットを作成し、学習旅行や体験学習向けの教材として活用を図る。 ・パンフレット制作・配布	R5.11 ～ R6.3
	8	北アルプス地域ワイン振興事業	地域のワインの特色や魅力を発信し、地域産のワインの消費拡大、観光誘客を促進する。 ・観光関係事業者向けワイナリー等見学会、講座の開催 ・地域食材を活かしたワインの新たな楽しみ方の検討	R5.8 ～ R5.11
	9	北アルプスの麓で暮らし・働く大相談会2023	主に首都圏在住者を対象に、地域の魅力、暮らし方、働き方を併せて発信し、移住定住につなげる。 ・市町村との共催による移住相談会の実施	R5.8 ～ R5.12
	10	ウィキペディアタウン開催事業	若者が地域を歩き、自らの手で地域の情報を発信することで、地域への愛着を深め、地域活性化につなげる。 ・ウィキペディアタウンの開催	R5.8 ～ R5.10
	11	北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業	地域住民の農ある暮らしをサポートし、情報発信することで、地域に人を呼び込むことを目指す。 ・「農ある暮らしサポート直売所」における栽培技術サポート、ミニセミナーの開催 ・農ある暮らし事例紹介動画を活用し情報発信	R5.4 ～ R6.3
	12	「Kita Alps地域おこし協力隊通信」発行事業	管内の協力隊員の活動状況を把握、情報発信し、円滑な活動と任期終了後の地域への定着を促進する。 ・「Kita Alps地域おこし協力隊通信」を発行	R5.10 ～ R6.3
	13	地域おこし協力隊等起業塾	多様な就労機会の創出のため、地域おこし協力隊任期終了後の起業・就業や、女性・若者が起業するための支援を行う。 ・県立大学と連携した起業塾の開催 ※北信との連携事業	R5.5 ～ R5.8
	14	障害のある人とない人とのスポーツなどを通じた交流事業	障がいのある人もない人も共に楽しめるスポーツ・レクリエーションを体験する場を創出し、地域への普及を目指す。 ・ポッチャ等体験会の開催 ・ポッチャ等競技の紹介、用具貸出、講師派遣	R5.4 ～ R6.3
15	生活習慣病予防対策推進事業	食育、運動習慣の定着、がん検診受診率の向上のため、健康づくりの機運の高揚を図る。 ・食育フォーラムの開催 ・食生活改善リーフレットの作成	R5.11 ～ R6.3	

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
北アルプス	16	シニアの居場所づくり支援事業	身近な場所で活躍できる居場所づくりの機運を高め、シニアの社会参加を促進する。 ・まちの縁側講座の開催 ・居場所づくり実践に係る情報発信	R5.7 ～ R6.3
	17	白馬駅前における地域振興・活性化の推進事業	地元住民、白馬村、JR東日本及び長野県の協働により道路空間を活用した白馬駅の地域振興・活性化の推進を図る。 ・地域の振興・活性化に資するイベントの開催 ・地域の魅力・課題のPR活動	R5.7 ～ R5.9
	18	県立白馬高等学校魅力発信事業	県内唯一の国際観光科があり全国から生徒を受け入れている白馬高校の特色や魅力を発信し関心を高め、入学者数の増加を目指す。 ・長野県永久観光大使出演ラジオ番組での特色、魅力の発信	R5.10 ～ R6.2
	19	北アルプス地域魅力発信事業	観光旅行者、移住希望者等に北アルプス地域を選択してもらうため、地域の魅力をPRする。 ・パンフレット等による情報発信 ※長野地域振興局との連携事業	R6.2 ～ R6.3
長野	1	長野地域に移住したくなる！移住・二地域居住情報発信事業	・移住者への取材と発信 ・連携中枢都市圏と連携した移住促進	R5.9 ～ R6.3
	2	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	・信州まつもと空港レンタカー利用者向け観光パスポートの発行	R5.5 ～ R6.3
	3	長野地域版2050ゼロカーボン普及啓発事業	・再生可能エネルギー学習ツアーの開催 ・2050ゼロカーボン普及啓発物品の作成	R5.9 ～ R6.3
	4	農地防災施設に対する知識と理解の促進事業	・排水機場の動画・模型の製作 ・出前講座・見学会の開催	R5.5 ～ R6.3
	5	体験型観光推進事業	・体験型観光コンテンツの集積と発信	R5.4 ～ R6.3
	6	伝統的工芸品振興事業	・伝統的工芸品の製作体験研修会の開催	R5.6 ～ R6.1
	7	長野地域産業DX推進事業	・DX推進についてのセミナーの開催 ・DXに向けた伴走支援の実施	R5.6 ～ R6.3
	8	果樹産地を支える労働力の確保促進事業	・民間企業等へのアンケート調査の実施 ・果樹の支え手研修会の開催	R5.6 ～ R6.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
長野	9	ながの果物語り 官民一体となった長野地域産果物PR事業	・JR東日本グループ、AC長野パルセイロと連携した果物PRイベントの開催	R5.4 ～ R6.3
	10	ながの果物語り 直売所等との連携体制構築事業	・管内直売所や観光農園と連携した長野地域産果物のPR	R5.6 ～ R6.3
	11	ながの果物語り 地消地産推進事業	・県オリジナル品種等の試食会の開催	R5.6 ～ R6.3
	12	もも等の産地復興モデル事業	・もも栽培における効率的な作業方法の普及啓発 ・もも等果樹の防霜対策	R5.4 ～ R6.3
	13	安全・安心な暮らしを支える土木施設見学会	・土木施設見学会の開催	R5.10 ～ R5.12
北信	1	郷土愛を育み、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりの推進	・おでかけ子どもカフェの実施 ・高校生を対象とした「起業塾」の開催	R5.4 ～ R6.3
	2	キャリア教育や起業、就労の場、次代の担い手の確保の推進	・地域おこし協力隊「起業塾」の開催 ・地域おこし協力隊定着の支援 ・地域おこし協力隊サポートデスク	R5.4 ～ R6.3
	3	移住、つながり人口創出の推進	・移住推進のためのスキルアップ研修の開催	R5.12 ～ R6.3
	4	地域資源を活用した観光の推進	・北信州おいしい食材フェアの実施 ・良質な酒米や仕込み水を育む「北信州」の情報発信 ・周遊観光のための情報発信 ・観光振興に関するアドバイザーの観光振興団体への派遣	R5.4 ～ R6.3
	5	広域観光と通年型観光の地域づくり	・サイクリングルート/environment整備 ・広域サイクリング推進事業 ・新潟県との協働による「秋山郷」の情報発信	R5.4 ～ R6.3
	6	雪対策の推進	・雪下ろし安全対策講習会の開催等 ・雪の利活用促進の研究	R5.11 ～ R6.3
	7	保健・医療・介護や公共交通等の生活基盤の維持	・「ひくシオたすベジ北信州」キャンペーンの実施 ・地域全体の公共交通の利便性向上に向けた検討 ・飯山線の利用者増のための情報発信	R5.4 ～ R6.3
	8	地域資源を活かしたゼロカーボンの推進	・勉強会、意見交換会の開催 ・独自資源によるエネルギー地産地消推進のための専門家派遣	R5.9 ～ R6.3